情 報 公 開 文 書

研究の名称	緑内障眼に対するトラベクレクトミー術後の視神経乳頭血管密度変化と眼圧変化の関係の検討に関するカルテ調査
整理番号	
研究機関の名称	富山大学附属病院
研究責任者	眼科　林　篤志
研究の概要	【研究対象者】 富山大学附属病院で 2018 年 1 月 1 日から 2020 年 5 月 31 日までに緑内障と診断されトラベクレクトミー手術をされた患者 【研究の目的・意義】 緑内障は網膜の神経細胞が障害され、視野異常、視力低下をきたす疾患です。眼の硬さを表す指標として眼圧が用いられ、眼圧が高くなることで緑内障は悪化します。緑内障の治療としては眼圧を下げることですが、点眼などの薬物療法をして眼圧が下がらない場合は眼圧を下げる手術加療を行います。トラベクレクトミーは眼圧を下げる緑内障手術の中で最も一般的な手術加療です。また近年 OCT angiography という機械が使用できるようになり網膜や視神経乳頭周囲の血管構造を正確に把握できるようになりましたが、トラベクレクトミー手術前後での眼圧の推移、乳頭周囲の血管密度の関係は十分に検討されていません。今回我々は当院で手術加療をさせていただきました緑内障患者さんの診療録を後ろ向きに調査し、術前後の眼圧、術前後の乳頭周囲血管密度を検討します。 【研究の方法】 富山大学附属病院で 2018 年 1 月 1 日から 2020 年 5 月 31 日までに緑内障と診断されトラベクレクトミー手術をされた患者の診療録から術前後の眼圧、乳頭周囲の血管密度を確認します。 【研究期間】 承認日から 2021 年 3 月 31 日まで 【研究結果の公表の方法】 学会発表、論文掲載を予定しています。
研究に用いる情報の項目と利用方法（他機関への提供の有無）	主要評価項目：手術前後での眼圧、手術前後での乳頭周囲血管密度 副次的評価項目：緑内障病型、年齢、性別 他機関への情報の提供：無
研究に用いる情報を利用する機関及び施設責任者氏名	富山大学附属病院　眼科　教授　林　篤志
研究資料の開示	研究対象者、親族等関係者のご希望により、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で研究計画書等の研究に関する資料を開示いたします。
情報の管理責任者（研究主機関における研究責任者氏名）	研究責任者：附属病院　眼科　教授　林　篤志
研究対象者、親族等関係者からの相談等への対応窓口	研究対象者からの除外（試料・情報の利用または他機関への提供の停止を含む）を希望する場合の申し出、研究資料の開示希望及び個人情報の取り扱いに関する相談等について下記の窓口で対応いたします。 担当者所属・氏名　眼科　大塚光哉 研究対象者等からの相談窓口　　眼科　大塚光哉 眼科外来　076-434-7310 または　076-434-7311 個人情報管理者、研究事務局等　設置なし